



新型 C クラスを発表

- ・ セダン、ステーションワゴン、クーペ、カブリオレの4車種を同時に刷新
- ・ 効率化と高性能化のための新技術「BSG（ベルトドリブン・スターター・ジェネレーター）+48 V ^{ボルト}電気システム」を搭載した新型直列4気筒エンジンを一部モデルに採用
- ・ 安全性と快適性、効率性を高次元で融合する「インテリジェントドライブ」がさらに進化

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長: 上野金太郎、本社: 東京都品川区)は、メルセデス・ベンツ新型「C クラス」を発表し、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて本日より注文の受付を開始します。なお、お客様への納車は 9 月より順次予定しております。

C クラスは 1982 年に「190 クラス」として登場以来、動力性能や快適性、安全性などあらゆる面において常にセグメントのベンチマークとされているモデルです。2014 年から販売している従来型 C クラスは、セダンとステーションワゴンを合わせて、日本で累計約 6 万 9 千台を販売し、2015 年以來、年間のセグメントナンバー^{*1}を達成し続け、数々の賞を受賞するなど、多くのお客様に高い評価をいただいております。

^{*1}: 欧州委員会の分類概念に基づいた輸入車 D セグメント

そして 2018 年、安全性と快適性、効率性を高次元で融合する「インテリジェントドライブ」がフラッグシップモデルの「S クラス」と同レベルに大きく進化、新開発のパワートレインを導入するなど、安全性と快適性、効率性をさらに向上し、デザインを一新して生まれ変わりました。

デザイン

新型「C クラス」は、フロントおよびリアバンパーを刷新し、よりダイナミックなデザインとなっています。「LED ハイパフォーマンスヘッドライト」^{*2}はヘッドライト内部にマルチチャンバーリフレクターが上下 4 列ずつ立体的に並び、近未来的な印象を演出しています。さらに上位の「マルチビーム LED ヘッドライト」^{*3}は E クラスや S クラスと同様のシステムで、片側 84 個の LED 光源を瞬時に個別に制御することにより、前走車や対向車のドライバーを幻惑することなく、広い範囲を明るく照射し続けます。雨天の照り返しを抑えるモードや、高速道路モードなど様々な状況に対応することができるだけでなく、最長 650m 先まで照射するウルトラハイビームも新たに搭載しました。さらに、セダンのテールライトユニットは内部が C クラスの「C」の文字をモチーフにしたライトデザインに変更され、新型「C クラス」の新たな特徴の一つとなっています。

^{*2}: <セダン/ステーションワゴン>C 180 (受注生産モデル)、C 180 アバンギャルドに標準装備
<クーペ/カブリオレ>C 180 スポーツに標準装備

^{*3}: <セダン/ステーションワゴン>C 200 アバンギャルド、C 200 4MATIC アバンギャルド、C 220 d アバンギャルド、メルセデス AMG モデルに標準装備
<クーペ/カブリオレ>C 180 スポーツにオプション、メルセデス AMG モデルに標準装備

「AMG ラインエクステリア」*4は、フロントに新たに「ダイヤモンドグリル」を採用し、左右のエアインテーク部に 2 本のフィンが装着されるなど、高級感とダイナミックさを両立したデザインとなっています。また、フロントバンパー左右に新たに設けられたエアカーテンは、バンパー及び、フロントタイヤ周辺の空力性能を向上する効果があります。さらに、新設計の「18 インチ AMG5 ツインスポークアルミホイール」*5は、外周部にプレートを備えるなど、空力性能を追求したデザインとなっています。

*4、5: <セダン/ステーションワゴン>C 180 アバンギャルド、C 200 アバンギャルド、C 200 4MATIC アバンギャルド
C 220 d アバンギャルドにオプション装備
<クーペ/カブリオレ>C 180 スポーツに標準装備

インテリアは、ダッシュボードからドア、シートまで流れるような一体感がありつつ、スポーティなデザインコンセプトを継承しながら、ダッシュボード中央にはナビゲーションやエンターテインメントシステムの表示画面となる、高精細 10.25 インチの「ワイドディスプレイ」を装備しています。また、インストゥルメントクラスターの機能を持つ、高精細 12.3 インチの C クラス専用デザイン「コックピットディスプレイ」*6は速度計や回転計、ナビゲーションや安全運転支援システムなどの情報を表示することができるほか、「クラシック」、「スポーツ」、「プログレッシブ」の 3 種類のデザインの中からお好みで設定することができます。

ステアリングホイールは S クラスと同じデザインの、メルセデス・ベンツ最新世代のステアリングホイールが採用されており、上質かつスポーティなデザインとなっているほか、手を放さずに、ナビゲーションの操作や車両の設定などが行える、「タッチコントロールボタン」や、「アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック(自動再発進機能付)」を設定するスイッチも備えており、操作性の向上にも寄与します。また、64 色から選択可能なアンビエントライト*7を装備するなど、最新のメルセデス・ベンツモデル共通のデザインや装備を採用しています。さらに、総出力 225W、9 スピーカーの「アドバンスドサウンドシステム」を新たに設定*8したほか、ハイエンドオーディオ専門メーカー「ブルメスター社」と共同開発した、2 つの Front Bass®スピーカーを含む 13 個のハイパフォーマンススピーカー(総出力 590W)、9 チャンネルのアンプなどにより、極めて高精細なナチュラルサウンドを表現する「Burmester®サラウンドサウンドシステム」*9も選択することができます。

*6: <セダン/ステーションワゴン> C 200 アバンギャルド、C 200 4MATIC アバンギャルド、C 220 d アバンギャルド、メルセデス AMG C 63 にオプション装備、メルセデス AMG C 43 4MATIC、メルセデス AMG C 63 S に標準装備
<クーペ/カブリオレ>C 180 スポーツにオプション装備、メルセデス AMG モデルに標準装備

*7: <セダン/ステーションワゴン>C 180 (受注生産モデル)を除き標準装備、<クーペ/カブリオレ>全モデル標準装備

*8: <セダン/ステーションワゴン>C 180 アバンギャルド、C 200 アバンギャルド、C 200 4MATIC アバンギャルド、C 220 d アバンギャルドに標準装備、<クーペ/カブリオレ>C 180 スポーツに標準装備

*9: <セダン/ステーションワゴン>C 200 アバンギャルド、C 200 4MATIC アバンギャルド、C 220 d アバンギャルド、メルセデス AMG C 63、メルセデス AMG C 63 S にオプション装備、メルセデス AMG C 43 4MATIC に標準装備
<クーペ/カブリオレ>メルセデス AMG モデルに標準装備

パワートレイン

「C 200 アバンギャルド」には新開発の 1.5 リッター直列 4 気筒ターボエンジン「M264」と「BSG(ベルトドリブン・スターター・ジェネレーター)」、^{ボルト}「48 V 電気システム」などの新技術を採用することにより、効率性、快適性、高性能化を同時に実現したパワートレインを搭載しています。

「M264」エンジンは単体で最高出力184PS(135kW)、最大トルク280Nmを発生します。ターボチャージャーにはツインスクロールシステムを採用したほか、可変バルブタイミングを実現する「カムトロニック」も搭載されており、状況に応じた最適な吸気を実現しています。また、エンジン内部の摩擦低減対策として、メルセデス・ベンツが特許を取得した、「CONICSHAPE®加工」を採用しています。これは、シリンダーウォールをフォームホーニング加工する際に、シリンダーウォールを底部に向けてやや広がる形とすることで、ピストンスカート部に発生する摩擦を低減する技術です。

さらに、ベルトを介してクランクシャフトと接続される、スターターとジェネレーターを兼ねるモーター、「BSG(ベルトドリブン・スターター・ジェネレーター)」と^{ボルト}「48 V 電気システム」は、回生ブレーキ等により発電した48Vの電気を1kWhのリチウムイオン電池に蓄電し、必要な際に最高出力14PS(10kW)^{*10}、最大トルク160Nmを発生し動力を補助します。回生ブレーキによる燃費低減効果だけでなく、ターボチャージャーの過給圧が十分に高まるまでの間のアシストを行い、スムーズな加速に貢献します。また、このモーターはギアシフト時にも使用され、エンジンが理想的回転数に達するまでの時間を最小限に抑えるためのアシストも行います。これにより、シフトチェンジに必要な時間が短縮され、スムーズでタイムラグの少ないシフトチェンジを実現します。

そのほかにも、ウォーターポンプが電動化され、冷却能力を必要に応じて最適に調整することができるほか、エンジンを止めた状態で走行するコースティング^{*11}の実現や、エンジンの始動の際の低騒音、低振動を実現しています。

*10: 回生時 16PS(12kW)

*11: ダイナミックセレクトでECO選択時

「C 220 d アバンギャルド」にはEクラスにも搭載されている、最高出力143kW(194PS)、最大トルク400N・m(40.8kg・m)を発生する、メルセデス・ベンツ最新の2.0リッター直列 4 気筒BlueTECエンジンが搭載されます。従来型のクリーンディーゼルエンジンより高出力化された一方、振動、騒音も低減されており、快適なドライブを実現します。また、シリンダーブロックと、ピストンに熱膨張率の異なる素材を採用することや、メルセデス・ベンツが開発した表面コーティングNANOSLIDE®を導入することで、摩擦を低減し効率性を向上しています。さらに、排出ガス浄化経路の短縮やsDPF(DPF with SCR Coating: 選択触媒還元法コーティング付粒子状物質除去フィルター)を採用するなど、排気の浄化にも注力して開発され、欧州において導入されているRDE(実路走行試験)規制に適合したエンジンです。

インテリジェントドライブ

メルセデス・ベンツの自動運転開発の次のステップとなる技術は、特に高速道路での渋滞の際に、運転支援機能によりドライバーにかかる負担を大きく軽減するシステムです。 Page 4

「新型 C クラス」には昨年発表された新型 S クラスと同等のシステムが全てのモデルで選択することができます^{*12}。先行車との車間距離のみならず周囲の交通状況(車両、車線、ガードレールなど平行な物体)を常に監視して、従来よりもステアリングアシストが作動する状況が大幅に拡大しました。車線が不明瞭または表示されていない場合には先行車を追従します。また、システム起動時に高速道路上で自動停止した場合、30 秒以内(一般道は 3 秒以内)であれば自動再発進が可能となり、渋滞時のドライバーの疲労を大幅に低減します。その他の革新技術、「アクティブレーンチェンジングアシスト」は、ドライバーがウインカーを点滅させた場合、行き先の車線に車両がないことを確認して、自動で車線を変更します^{*13}。さらに、走行中にドライバーが気を失うなど万が一の場合には、自動的に車線を維持しながら緩やかに減速・停止する「アクティブエマージェンシーストップアシスト」も搭載しました。

*12: メルセデス AMG モデルに標準装備、その他のモデルでオプション装備

*13: 高速道路を走行中アクティブステアリングアシスト作動時に起動します。

テレマティクスサービス「Mercedes me connect」を全モデルに標準装備

自動車通信によりお客様の利便性を向上する先進的なテレマティクスサービス「Mercedes me connect」は、「24時間緊急通報サービス」などを最長10年間無償でご提供する「安心安全サービス」、「リモートドアロック&アンロック」などを3年間無償でご提供する「快適サービス」、「メルセデス・ベンツ 24時間コンシェルジュサービス」を1年間無償でご提供する「おもてなしサービス」^{*14}の3つのサービスカテゴリーから構成されます。

「安心安全サービス」

- 24時間緊急通報サービス: 事故検知時(エアバッグ、シートベルトテンショナー展開時)または車内にあるSOSボタン押下時に、コールセンターが消防に連絡します。
- 24時間故障通報サービス: ツーリングサポートが必要な際に、車内からツーリングサポートセンターに連絡できます。

「快適サービス」

- リモートドアロック&アンロック: スマートフォンの操作で車両ドアのロック、アンロックができます。
- リモート(車両)ステータス確認: 車両の走行距離、燃料計、平均燃費等の状態をアプリ等で確認できます。
- MB Apps: 天気情報やインターネットラジオをMB Appsで表示、使用できます。
- 駐車位置検索: 駐車した車両の位置をアプリの地図上に表示します。
- Send2Car: スマートフォンから、ナビゲーションの目的地を遠隔設定できます。

「おもてなしサービス」*14

- メルセデス・ベンツ 24時間コンシェルジュサービス:車内から専用ボタンを押すだけで専門のオペレーターが24時間365日対応します。

Page 5

- ✓ 車載された通信モジュールを利用し、ナビゲーションの目的地を設定
- ✓ レストランやホテル等の検索・予約*15
- ✓ メルセデス・ベンツ正規販売店の検索・ご案内
- ✓ 緊急時の病院の案内 など

*14: メルセデスAMGモデルに標準装備

*15: 施設により本予約と仮予約のいずれかのご提供となります

メルセデスAMG

「新型Cクラス」には、メルセデスAMGが専用開発した高出力V6エンジンと、パフォーマンス志向の四輪駆動システム「AMG 4MATIC」を備えた「メルセデスAMG 43シリーズ」とトップパフォーマンスモデルの「メルセデスAMG 63シリーズ」がラインアップされます。

「メルセデスAMG 43シリーズ」はターボの大型化と制御の改良により従来モデルより23PS(17kW)高出力化し最高出力390PS(287kW)となり、さらに伸びやかな加速を実現します。また、高性能エンジンのパワーを四輪に最適に配分するMercedes-AMGが開発した四輪駆動システム「AMG 4MATIC」を搭載しており、31:69とリア寄りのトルク配分により、スポーツ走行時などで強力なトラクションと安定感あるハンドリングを提供します。エクステリアは、従来「メルセデスAMG 63シリーズ」に採用されていた、イリジウムシルバーマットに塗装されたツインルーバーの「AMGラジエターグリル」を採用し、リアには新しく、左右それぞれに「ツインラウンドテールパイプ」を装備することで、スポーティさを強調しています。また、新設計のフロント/リアエプロンは、空力性能の向上に寄与しています。インテリアには、新たに非常にスポーティなデザインの「AMGパフォーマンスステアリング」を採用し、ドライバーのパフォーマンスへの期待感を高めます。

「メルセデスAMG 63シリーズ」には、新たに「AMGパナメリカーナグリル」を採用しました。「AMGパナメリカーナグリル」はモータースポーツに由来し、クロームメッキを施した12本の垂直フィンの基本デザインは、1952年メキシコで開催された伝説の公道レース、カレラ・パナメリカーナ・メヒコで優勝したレーシングカー「メルセデス・ベンツ300 SL」で初めて採用された由緒あるものです。また、新しくデザインされたフロントスポイラー内のフィンは、空力性能を向上するとともに、ワイドでスポーティな外観を強調しています。インテリアには最新のAMGデザインのステアリングホイールが採用されており、スポーティな印象を与えるとともに、正確な操舵のためのグリップを実現するデザインとなっています。さらにSモデルには、ステアリングホイールから手を離さずに走行モードを変更することができる「AMGドライブコントロールスイッチ」が装備されます。右側のスポークの根元に位置するボタンは「Comfort、Sport、Sport+、Race、Individual、Slippery」など、

ダイナミックセレクトの走行モードを選択することができ、左側はエグゾースト、サスペンション、マニュアルモード、ESPなどの調整を行うことができます。さらにSモデルに設定される「AMGパフォーマンスパッケージ」には、耐熱性能の強化と軽量化による性能強化を目的とした「AMGカーボンセラミックブレーキ(フロント)」と横方向のサポートを強化した「AMGパフォーマンスシート」が採用され、更なるハイパフォーマンスを追求しています。トランスミッションには新たに9速の「AMGスピードシフトMCT」を採用し、軽量化とレスポンスの向上を図っています。 Page 6

なお、新型「Cクラス」には、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

また、メルセデス・ケア期間中には、ご希望のモデルを3回無料でご利用いただける週末貸出サービス「シェアカー・プラス」もご利用頂くことが可能です。

さらに、メルセデス・ケア終了後、有償の保証延長プログラムとして、一般保証および24時間ツーリングサポートを2年間延長する「保証プラス」と、4、5年目のメンテナンスサービスにおいて、初回車検時および4年目の点検や定期交換部品、消耗品の交換をパッケージでご提供する「メンテナンス プラス^{*16}」をご用意しています。

*16: 新車登録日から 59 ヶ月後の応当日の前日、または総走行距離 75,000km 到達時のいずれか早い時点で終了となります。

ラインアップ

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

Page 7

(セダン)

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格	
C 180 (受注生産モデル)	右	1.6L 直 4 直噴ターボ	¥4,490,000	(¥4,157,408)
C 180 アバンギャルド	右	1.6L、直 4 直噴ターボ	¥4,890,000	(¥4,527,778)
C 200 アバンギャルド	右	1.5L、直 4 直噴ターボ	¥5,520,000	(¥5,111,112)
C 200 4MATIC アバンギャルド	右	1.5L、直 4 直噴ターボ	¥5,800,000	(¥5,370,371)
C 220 d アバンギャルド	右	2.0L、直 4 直噴ディーゼル ターボ	¥5,780,000	(¥5,351,852)
メルセデス AMG C 43 4MATIC	右/左	3.0L、V6 直噴ツイン ターボ	¥9,400,000	(¥8,703,704)
メルセデス AMG C 63	右/左	4.0L、V8 直噴ツイン ターボ	¥12,110,000	(¥11,212,963)
メルセデス AMG C 63 S	右/左	4.0L V8 直噴ツイン ターボ	¥13,790,000	(¥12,768,519)



メルセデス・ベンツ C 200 アバンギャルド

(ステーションワゴン)

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格
C 180 ステーションワゴン (受注生産モデル)	右	1.6L 直 4 直噴ターボ	¥4,730,000 (¥4,379,630)
C 180 ステーションワゴン アバンギャルド	右	1.6L、直 4 直噴ターボ	¥5,130,000 (¥4,750,000)
C 200 ステーションワゴン アバンギャルド	右	1.5L、直 4 直噴ターボ	¥5,760,000 (¥5,333,334)
C 200 4MATIC ステーション ワゴン アバンギャルド	右	1.5L、直 4 直噴ターボ	¥6,040,000 (¥5,592,593)
C 220 d ステーションワゴン アバンギャルド	右	2.0L、直 4 直噴ディー ゼルトーボ	¥6,020,000 (¥5,574,074)
メルセデス AMG C 43 4MATIC ステーションワゴン	右/左	3.0L、V6 直噴ツイン ターボ	¥9,590,000 (¥8,879,630)
メルセデス AMG C 63 ステーションワゴン	右	4.0L、V8 直噴ツイン ターボ	¥12,350,000 (¥11,435,186)
メルセデス AMG C 63 S ステーションワゴン	右	4.0L V8 直噴ツイン ターボ	¥13,980,000 (¥12,944,445)

Page 8



メルセデス・ベンツ C 200 アバンギャルド

(クーペ)

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格
C 180 クーペ スポーツ	右	1.6L 直 4 直噴ターボ	¥5,640,000 (¥5,222,223)
メルセデス AMG C 43 4MATIC クーペ	右/左	3.0L、V6 直噴ツイン ターボ	¥9,500,000 (¥8,796,297)
メルセデス AMG C 63 クーペ	右/左	4.0L、V8 直噴ツイン ターボ	¥12,920,000 (¥11,962,963)
メルセデス AMG C 63 S クーペ	右/左	4.0L V8 直噴ツイン ターボ	¥14,240,000 (¥13,185,186)

Page 9



メルセデス AMG C 63 S クーペ

(カブリオレ)

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格
C 180 カブリオレ スポーツ	右	1.6L 直 4 直噴ターボ	¥6,150,000 (¥5,694,445)
メルセデス AMG C 43 4MATIC カブリオレ	右	3.0L、V6 直噴ツイン ターボ	¥10,030,000 (¥9,287,037)
メルセデス AMG C 63 S カブリオレ	右/左	4.0L V8 直噴ツイン ターボ	¥14,830,000 (¥13,731,482)

Page 10

* 17: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。販売店が価格は独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。



メルセデス AMG C 43 カブリオレ

新型Cクラスの特長詳細

「インテリジェントドライブ」

Page 11

飛躍的に進化した「レーダーセーフティパッケージ」

高度化されたステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーの働きにより周囲の交通状況をよりの確に把握することができるようになり、機能が大きく強化されました。

- ・アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック（自動再発進機能付）
- ・アクティブステアリングアシスト

「アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック（自動再発進機能付）」は、ステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーにより、高速道路などの走行時に先行車を認識して、速度に応じて車間距離を調節します。減速が必要な場合、アクセルおよびブレーキを自動調整してスムーズに減速し、先行車が停止した場合は自車も停止します。また、新たに停止している先行車の検知も可能となりました。先行車および停止中の車両との距離が突然縮まった場合には、警告灯と警告音でドライバーに知らせます。

自動再発進機能も備わり、高速道路での渋滞時に自動停止した際、30秒以内に先行車が発進した場合は、ドライバーがアクセルを踏まなくても自動で再発進します（一般道では3秒以内）。30秒以上停止していた場合は、アクセルを軽く踏む、またはステアリング上のスイッチを使用して再発進が可能です。

「アクティブステアリングアシスト」は、車線のカーブと先行車を、車線が不明瞭な道ではガードレールなどを認識し、車間を維持しながらステアリング操作をアシスト^{*18}します。

*18: アクティブディスタンス・ディストロニック(自動再発進機能付)作動速度範囲:0~約210km/h
設定可能速度範囲:約20~210km/h

*19: 車線が不明瞭な場合のアクティブステアリングアシスト作動範囲:0~約130km/h

- ・渋滞時緊急ブレーキ機能

ステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーで、先行車およびその左右の車線を監視します。突然渋滞の最後尾が現れた場合などに、前走車との衝突の危険を検知します。その左右などに回避スペースが無いと判断すると、即座に自動ブレーキが作動し、衝突回避または被害軽減を図ります。回避スペースがある場合は、ドライバーの回避操作を優先します。ただし、ドライバーが反応しない、または回避操作が遅れて衝突が回避できないと判断した場合には、即座に自動ブレーキが作動します。さらに、渋滞末尾で回避操作を行う空間的余裕がない危険な状況を検知して、通常よりはるかに早い段階でブレーキを自動で作動させる機能も搭載しました。

・アクティブレーンチェンジングアシスト

高速道路を走行時にアクティブステアリングアシストが起動している際に、ドライバーがウインカーを点滅させると 3 秒後に車両周囲を監視しているセンサーが他の車両などとの衝突の危険が無いことを確認し、安全が確認された場合に自動で車線を変更します。また、ドライバーがウインカーを作動させたときに周囲の状況により車線変更ができない場合でも、10 秒以内であれば、システムが車線変更できるかどうか確認し続け、自動で車線変更を行います。その際、作動状況をマルチファンクションディスプレイに表示します。

*20: 作動速度範囲: 約 80km/h~180km/h (一般道での利用不可)

・アクティブエマージェンシーストップアシスト

アクティブステアリングアシストが起動している際に、ドライバーが一定時間ステアリング操作を行わない場合、警告灯と警告音によってステアリングを握るよう促し、それでもドライバーがステアリング、アクセル/ブレーキ、タッチコントロールボタンの操作の反応が無い場合は、さらに警告音を鳴らしながら、緩やかに減速して停止します。また、車両停止後は自動的にパーキングブレーキがかかることで、後方からの衝突による二次災害を防止します。

・アクティブブレーキアシスト(歩行者/飛び出し検知機能付)

先行車、前を横切る車両や合流してくる車両、歩行者、路上の物体などとの衝突の危険性を感知すると、ディスプレイ表示や音でドライバーに警告します。必要な場合はシステムが衝突を回避するために強力な制動力を発揮できるようブレーキ圧を高めます。同時に、前席のシートベルトの巻き上げや助手席のシートポジション修正など、衝突時に乗員の最適な姿勢を可能な限り確保する PRE-SAFE®機能も作動します。ドライバーが反応しない場合、システムが衝突を避けられないと判断して、最大のブレーキ力で自動緊急ブレーキが作動します。衝突の回避もしくは被害軽減を効果的にサポートします。なお、交差点での車両飛び出しにも対応します。

*21: 作動速度範囲: 約 7~250km/h

*22: 歩行者検知機能 作動減速範囲: 約 7~70km/h

*23: 作動速度範囲は、気象条件や道路状況等により変動することがあります。

・緊急回避補助システム

車両前方にいる車道横断中の歩行者などとの衝突の危険を検知すると、システムが正確なステアリングトルクを計算して、ドライバーのステアリング操作をアシストします。また、回避後の車線復帰も同様にサポートします。

*24: 作動速度範囲: 約 20~70km/h

・トラフィックサインアシスト

一般道や高速道路を走行中、カメラが制限速度などの標識を読み取り、ディスプレイに表示し、制限速度を超えた際には警告音を出してドライバーに注意を促す機能も搭載します。

・アクティブレーンキーピングアシスト

フロントウインドウのステレオマルチパーパスカメラが車線を検出し、フロントホイールが走行車線を越えたと判断するとステアリングを断続的に微振動させてドライバーに警告します。ドライバーが反応しない場合は自動補正ブレーキによって車両を車線内に戻そうとします。なお、破線の車線走行時には隣車線の車両もしくは対向車と衝突の危険がある場合にのみ作動します。

*25: 作動速度範囲: 約 60km/h~200km/h

・アクティブブラインドスポットアシスト(降車時警告機能付)

リアバンパー左右のレーダーセンサーにより、車両の斜め後ろのミラーで見えない死角エリアに車両や自転車がいることを警告します。さらに、30km/h 以上で走行の際に側面衝突の危険がある時にはブレーキを自動制御して、危険回避をサポートします。追い越し車線に移ろうとして斜め後ろにいる車両に気づかなかった時など、ドライバーの不注意によるミスを予防し、安全な走行を支援します。また、メルセデス・ベンツ初の機能として、エンジン停止から 3 分間、障害物が後方から近づくと、サイドミラー外側の警告灯が点灯し、さらにドアを開けようとする、警告音を発することで、死角から近づく障害物と、開けたドアが接触することを防止する「降車時警告機能」を追加しました。

*26: 作動速度範囲: 約 12~200km/h

*27: 自動コース修正作動減速範囲: 約 30~200km/h

・リア CPA(被害軽減ブレーキ付後方衝突警告システム)

リアバンパーに設置されたレーダーセンサーが後方のクルマを監視して車間距離と接近速度から衝突の危険があると判断すると、ハザードランプを素早く点滅させて後続車のドライバーに警告するとともに、インジケーターによりドライバーに警告します。自車が停止中で後続車が十分に減速しない場合は、後方からの衝突に備えてブレーキ圧を高めます。これにより玉突き衝突の回避など二次被害の軽減をサポートします。さらにシートベルトテンショナーも作動させ、衝撃の影響の低減を図ります。

・PRE-SAFE®サウンド

システムが不可避の衝突を検知すると、車両のスピーカーから鼓膜の振動を抑制する音を発生させ、鼓膜の振動を内耳に伝えるあぶみ骨筋の反射収縮反応を引き起こします。この収縮によって衝撃音の内耳への伝達を軽減します。

ドライバーを支援するその他のシステム

・ドライブアウエイアシスト

Page 14

車両前方もしくは後方 1m 以内に障害物があり、その方向に進むギアを選択した場合、アクセルを強く踏んでも時速 2km/h 以上の速度が出ず、警告音によりドライバーに誤操作の可能性があることを警告します。

*28: 停止した際に、一旦 P にシフトした後、D か R に入れる必要があります。通常走行中に停止し、P にシフトせずに再発進をする場合は、本機能は作動しません。

*29: 時速 2km/h で走行し、警告にも関わらずドライバーがブレーキを踏まない場合は障害物に衝突します。

*30: 停止した際に障害物から 1m 以上離れている場合、本機能は作動しません。

・アクティブパーキングアシスト

約 35km/h 以下で走行中、超音波センサーが左右の最適な駐車スペースを自動で検出し、縦列駐車、並列駐車スペースへの出入りの際にドライバーをサポートします。自動操舵・ブレーキ・シフトチェンジ・速度コントロール機能により、自動で駐車します。複数の駐車スペースを選択することもできます。ブラインドスポットアシストとの組み合わせで働く「リアクロストラフィックアラート」は、並列駐車スペースからバックで出る際に、後ろを横切るクルマを検知してドライバーに注意を促すとともに、必要に応じて自動でブレーキを作動させます。

・マルチビーム LED(ウルトラハイビーム付)

ステレオマルチパーパスカメラと 4 つのコントロールユニットにより、理想的な配光パターンを毎秒 100 回の頻度で解析することで、片側 84 個の LED を高精度に正確に配光します。道路標識の反射が起こらないように前方を照射することや雨天時に路面からの反射を抑えドライバーに見やすい視界を提供することも可能です。さらに、対向車の眩惑防止はもちろんのこと、カーブを検知すると前もって配光パターンを制御し、カーブの先を早めに照らすことで安全性を高めます。新たにハイビームを補う「ウルトラハイビーム」が備わり、40km/h 以上の速度で走行している際、約 650m 以上の距離にわたって 1 ルクスを上回る明るさで照射し視認性を高め、安全性に寄与します。